

平成 2 0 年度(平成 1 9 年度実績)

教育委員会 の 点検 ・ 評価

北竜町教育委員会

平成 2 1 年 3 月

目 次

1. 点検・評価の概要	・ ・ ・ ・ ・	2
1) 趣旨		
2) 点検・評価の実施方法		
3) 点検・評価の事業分類		
2. 教育行政の基本方針及び重点目標	・ ・ ・ ・ ・	3
3. 主要施策の点検・評価	・ ・ ・ ・ ・	6
4. 社会教育及び社会体育事業実施の点検・評価	・ ・ ・ ・ ・	12
事業実施項目		
1) 生涯学習		
2) 社会教育		
3) 芸術文化		
4) 社会体育		
5. 社会教育施設の点検・評価	・ ・ ・ ・ ・	19
6. 点検・評価結果の総括	・ ・ ・ ・ ・	20

点検・評価の概要

1. 趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され教育委員会は、毎年その権限に属する教育行政事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

この法律の改正を受け、北竜町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会の事務の点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の実施方法

平成19年度に実施した教育委員会の事務事業について「しあわせプラン21北竜町総合計画」の基本構想を基に、教育委員会が自己評価を実施し、重点目標と主要施策を定め、それぞれ照らし合わせ、点検評価を行った。

評価ランク

- A ~ 十分達成した
- B ~ 概ね達成した
- C ~ やや達成した
- D ~ 達成に向けて努力している
- E ~ 取り組み無し

3. 点検・評価の事業分類

教育委員会の事務事業を5分野に分類して記載した。

対象項目（5分野）

- 1. 生涯学習の推進
- 2. 学校教育の充実
- 3. 社会教育の充実
- 4. スポーツ・レクリエーションの振興
- 5. 芸術・文化の振興

4. 社会教育及び社会体育事業実施の点検・評価

5段階評価 1（不良）2（やや不良）3（普通）4（やや良好）5（良好）

- 1. 生涯学習事業 ~ 4事業
- 2. 社会教育事業 ~ 21事業
- 3. 芸術文化事業 ~ 6事業
- 4. 社会体育事業 ~ 19事業

5. 社会教育施設の点検・評価

5段階評価 1（不良）2（やや不良）3（普通）4（やや良好）5（良好）

- 1. 社会教育施設 ~ 16施設

教育行政の基本方針及び重点目標

緑豊かな大自然の中で、日本一のひまわりと国民の命と健康を守るクリーン農業の町として、住民や訪れる人々がしあわせであることを実感できる、活力と潤いのある町づくりと北竜町の発展をふまえて「しあわせプラン21北竜町総合計画」を策定し9年目を迎えました。

その推進にあたっては、町民の皆様との連携が大切です。これまでも教育委員会の活動については、広報紙や生涯学習カレンダー等で町民の皆様にお知らせしています。

今日の国内情勢は、少子高齢化・高度情報化・国際化の進行など、社会環境が大きく変貌し、人々の意識や価値観も多様化が進んでいます。

このような背景のもと、次代を担う子どもたちの教育に大きな関心と期待が寄せられ、教育行政が果たす役割はますます重要となっています。

教育委員会では、子どもたちが豊かな心を備えたくましく育つよう、確かな学力の形成や自ら考え・主体的に判断し行動出来る「生きる力」を備えた人間性の育成や、環境整備を推進しているところです。

国・道の諸施策も見据えつつ、学校教育の充実・生涯教育の推進・地域文化の振興・スポーツの振興等あらゆる分野において調和のとれた教育行政の諸施策を推進するため、次のとおり平成19年度の基本方針及び重点目標を定めます。

基本方針・重点目標

基本方針	重点目標
<p>1.生涯学習の推進</p> <p>1) 生きがいに満ちた豊かな人間性を育てる生涯学習の推進</p> <p>2.学校教育の充実</p> <p>1) ゆとりを持った教育と、高い機能を備えた教育環境の充実</p> <p>2) 生きる力を育み、特色ある学校づくりの推進</p>	<p>「いつでも」「どこでも」「だれでも」自由に学び、知識や技能が取得出来、その成果を日常生活や社会活動に有効に活用される生涯学習教育の学習機会の充実</p> <p>町民への学習情報の提供の充実</p> <p>生涯学習を円滑に進めるための連絡、調整機関としての「生涯学習推進本部」の充実を図る</p> <p>学校施設設備の拡充を図り、児童生徒のゆとりある快適な教育環境を確保し、健全な教育活動の推進を図る</p> <p>児童生徒の学習の向上を図るため、基礎や基本をふまえた指導が必要であることから、教材・教具の整備の充実</p> <p>心の豊かな人間性を育み、自ら学び考え、主体的に判断や行動が出来る、「生きる力」を持つ教育の推進</p> <p>豊かな情操を育み、奉仕活動や自然とのふれ合う体験学習を通し、他人を思いやる心など、豊かな人間性を培うための道徳教育の充実</p> <p>健康教育の充実をはじめ関係機関と連携を図り、食育の推進に努める。また安全性の確保のため、保護者と連携をとり通学路の安全対策の充実を図る</p>

<p>3.社会教育の充実</p> <p>1) 幼児教育の推進 良好な教育環境の確保</p> <p>2) 少年教育の推進 健全な育成活動の推進</p> <p>3) 青年教育の推進 活動の指導援助</p> <p>4) 成人教育の推進 学習機会の提供と充実</p> <p>5) 女性教育の推進 学習情報の提供と学習 機会の充実</p> <p>6) 家庭教育の推進 適切な家庭教育の推進</p> <p>7) 高齢者教育の推進 学習機会の提供と活動 の推進</p> <p>4.スポーツ、レクリエシ ョンの振興</p> <p>1) スポーツに参加する 機会の拡充</p> <p>2) スポーツ指導体制の 強化</p>	<p>心身に障害のある児童生徒に対し、能力や適正に応じた教育の充実を図る 教職員の資質向上のため、研修・研究会への参加を奨励し研修の充実を図る</p> <p>個性豊かな幼児教育の充実</p> <p>自己形成と自立心を養うための学習、実践活動や連携意識の醸成が必要であり、家庭・学校・地域の連携を強化し、少年の健全な育成の推進を図る</p> <p>次代を担う青年として独創的な自己開発と良き伝統を継承していく上で、青年団活動は重要であり、地域及び諸団体、関係機関との連携を図り、より新しい魅力ある青年活動の推進を図る</p> <p>学習への参加を図るため、学習ニーズを把握し、地域との連携を深め、学級・講座等の計画的な推進を図る</p> <p>学習情報の提供や学習機会の拡充と、魅力ある女性団体活動を奨励し、リーダーの発掘と養成、さらに社会参加やボランティア活動の推進を図る</p> <p>明るく豊かな家庭づくりを基本として公民館活動や学校・PTAと連携をとり、親と子のふれあいの機会の提供や適切な家庭教育の推進を図る</p> <p>能力や適性に応じ積極的に社会参加を促し、生きがいづくりを目指す高齢者教育の推進を図る</p> <p>生涯にわたり、生きがいを持ち、気軽にスポーツ、レクリエーションが楽しめるよう、年代に応じた生涯スポーツの開発と普及の推進 スポーツ少年団などの既存の団体の育成と、スポーツ、レクリエーションを通してのグループづくりや自主的に行うスポーツ活動の促進</p> <p>体育指導委員、競技団体指導者、グループ指導者などの研修会、講習会への参加を促進し、指導者の養成を図る</p>
--	--

5.芸術・文化の振興

1) 創作・発表活動の充
実

生活に根ざした芸術・文化の振興を図るため、自発的、積極的に活動できる創作活動の推進

2) 芸術・文化鑑賞の機
会の拡充

文化の香り高いまちづくりを目指し、優れた芸術文化を享受することが出来る機会の提供

主要施策の「点検・評価」

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
1.生涯学習の推進 1) 多様な学習機会の提供と学習情報の提供	<p>「いつでも」「どこでも」「だれでも」自由に学びをキャッチフレーズに、公民館講座やひまわり大学、自主的なサークル活動の奨励、健康的なスポーツ活動など町民が出来る学習機会の提供に努めた。また広報や生涯学習カレンダーで学習情報の提供を行っている。</p>	<p>学習の参加状況については、高齢化に伴い減少傾向にあり参加者は限定的となっている。また自主的なサークル活動についても同じような状況となっている。 今後は、興味を持って参加出来る学習内容の構築と、若年層と高齢者が一緒にできるサークル活動や生涯学習情報の提供の充実を図る。</p>	B
2) 生涯学習の推進体制の充実	<p>平成6年に生涯学習推進本部を設置し、その調整機関として社会教育委員に役割を担っていただき、事業の反省や評価を頂いております。</p>	<p>計画を多方向から見直し、現状に合った学習と、合理的で充実した事業の展開が必要である。</p>	B
2.学校教育の充実 1) 教育条件の整備 ア.学校施設の整備	<p>学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件である。子どもたちが安全で安心して学習出来るよう、施設の整備を行っている。 平成11年度～小中校改修工事 平成16年度～小中校暖房設備の整備</p>	<p>学校施設は、子どもたちの教育施設であると同時に、地震等の非常災害時には避難場所として利用される地域の防災拠点としても重要な役割を担っており、安全・安心な施設として耐震化の整備が必要である。</p>	C
イ.教材・教具の整備	<p>児童生徒の一人ひとりの能力と適正に応じた学習強化を高めるため、教材・教具の整備を図っている。中学校では生徒に対し高度情報化社会に対応出来るよう、コンピューターを導入し、情報活用能力の育成を進めている。</p>	<p>今、国では、児童生徒の情報活用能力の向上を図るため「IT新改革戦略」を学校教育の目標に挙げられている。今後は、時代の流れに沿い、児童用PC及び校務の情報化を進める観点からも小中教職員用PC整備を図る必要がある。</p>	B

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
2) 教育内容の充実 ア. 学ぶ意欲を育て個性を生かす教育の推進	児童生徒の個性を充実させるため、小中校では実践的英会話の授業の取り組み、中学校では、読解力・思考力の向上を目的に朝読書を行っている。また複数の教科やコースを設定し、生徒が主体的に選択を行い履修出来るよう教育課程を実践している。	今後は、自ら学び・考え、主体的に判断し、行動出来る「生きる力」を定義づける学習指導要領に基づき、多様化する教育課程の適正な編制の取り組みが必要である。	B
イ. 道徳教育の充実	豊かな情操を育むため、他人との協調性を重視し、中学では奉仕活動(国道ゴミ拾い) 小学では高齢者とのふれあい事業やスポーツ活動を通し、他人を思いやる心を育てている。	スポーツや奉仕活動を通じ、豊かな人間性の形成を保持するため、今後においても充実した情操教育が必要である。	B
ウ. 健康・安全指導の充実	健康で人間性豊かな心身の育成のため、関係機関と連携を図りながら家庭と保健情報による健康管理指導を行っている。また近年増加傾向にある不審者等に対する指導についても、学校・関係諸団体・保護者と連携し対応している。(登校時の不審者通報訓練・不審者進入避難訓練・全児童生徒のスクールバス乗車可能対応等実施)	今後は、食環境の変化や嗜好の変化に伴い、学校給食についても対応し、衛生管理や安全な学校給食の提供が必要であり、また児童生徒の防犯意識の高揚を図るため、計画的な防災・防犯訓練が必要である。	B
エ. 特殊学級の整備の充実	障害を持つ児童生徒の能力や適正に応じて、特殊学級を設置し教育指導を行っている。学級の名称については、平成19年度より特殊学級から特別支援学級へと変更されたが、今まで通りの教育指導を行っている。	今後においても、関係機関との連携を図り、教育相談や就学指導の充実に努める必要がある。また指導者の専門的知識の向上を図るため、積極的な研修会等の参加が必要とされる。	A
オ. 教職員の研修と福利厚生の実施	教職員の資質向上を目的とした、研修会・研究会への参加の奨励や、北竜町教育振興会の充実に資するため補助を実施している。	教職員の専門性を高め指導力の向上、また多様化する教育内容に対応するため、なお一層の研修活動を行う必要がある。	B

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3.社会教育の充実 1) 幼児教育指導者の研修機会と講習会の充実	<p>就学前の幼児教育は、人間形成の基礎となることから、その重要性が認識されており、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て支援センター事業を行っている。また幼児教育に係わる指導者へ研修機会の充実を図っている。</p>	<p>各関係団体との連携を図り、地域全体で育児援助を行える取り組みが必要である。また子育ての支援活動を行う観点からも、充実した研修機会と講習会への派遣が必要である。</p>	B
2) 少年教育 ア) 学習活動の機会の提供	<p>今日の社会環境の変化に伴い、子どもたちを取り巻く現状は、健全育成活動を推進する上で重要な問題が多く山積されている。この様な現状の中、子どもたちの健全な育成、リーダー的な資質の養成を目的として、子ども会によるリーダー研修会やジュニアリーダー研修会等への参加の推進。また小笠原、沖縄への体験セミナー参加の奨励を行っている。</p>	<p>時代にあった活動の取り組みと、必要な研修会の開催や国内、海外研修の派遣の奨励、また各事業への支援が必要である。さらに、子どもたちが積極的に参加できるような情報の提供が必要である。</p>	B
イ) 体験学習機会の充実	<p>子どもの心の豊かさや創造力を培うため、子どもと高齢者のふれあい事業を実施し、見学体験旅行や農園づくり・昔の遊び・餅つきなどの体験学習を行っている。</p>	<p>各種行事の開催日が、土曜日曜に集中していることから、参加者が少なく支障を期することもあり、今後は各団体と連携を図り取り組む必要がある。</p>	B
ウ) 団体組織の強化と指導者の育成	<p>子どもの心身ともに健全な成長を図るため、子ども会育成連絡協議会やスポーツ少年団組織で、目的にあった活動を行っている。また各組織に携わる指導者の資質向上のため、研修会・講習会に派遣し、スポーツの振興と子どもの健全育成に努めている。</p>	<p>少子化に伴い、各行事及び活動に支障を期しているが、状況にあった取り組みを考え、今後も組織の強化の推進に努め、また指導者については意欲的に子どもたちの指導に当たっているが、行事や活動が土日に集中しているため、出役者が限られているため今後は指導者の育成と発掘に努める必要がある。</p>	B

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
エ) 青少年の育成の推進	今日の現状は、いじめ・非行などの問題及び家庭教育の機能の低下や連帯意識の稀薄化、物質文化の横行、情報産業から派生してくる好ましくない社会環境の中、青少年の非行防止について、教育委員会と学校・民生員・少年補導員など諸関係団体で組織している青少年育成推進会議で、警察を交えて意見交換や協議をし、青少年の健全育成の推進を図っている。	非行防止については、青少年のそれぞれの発達に応じた自己形成をはかるとともに、自立心を養う学習、実践活動の取り組みや、連帯意識の醸成が必要であり、家庭や学校・地域との連携を一層強化し、青少年の健全な育成の推進を図って行く必要がある。	B
3) 青年教育	現在は、人員の減少により活動中止となっている。	今の現状では、青年団活動は見込めないが、地域や関係機関と連携し、新しい魅力ある青年団活動の復活のための支援が必要である。	E
4) 成人教育 学習機会の提供 と指導体制の充実	今日の社会構造や生活態様の変化、個人の価値観の多様化の中で、生活意識や社会生活の関わりも複雑化しており、成人教育の果たす役割は必要であることから一般的な教養や知識、生活上の技術などに関する学習については、公民館講座で料理教室やパソコン教室、健康づくりの指導などを実施している。指導者は、町内外からの活用で町内者については、個人が習得した技術や知識を活用させて頂いているが、研修や養成はしていない。	学習への参加者は固定化傾向にあり、参加者の拡大と充実を図るためには、学習ニーズの把握と計画的な講座の推進に努め、また計画的な学習や講座開設のために、指導者の発掘や養成が必要である。	B
5) 女性教育 学習機会の提供 と指導体制の充実	本町では、生活問題や地域問題についての学習はしていない。各種講座で料理教室や健康づくりの指導など実施しているが、参加者の固定化がみられる。また、充実した学習活動を促進するための、指導者の養成や人材の発掘は行っていない。	今後は、女性問題に関する学習情報や学習機会の提供。また魅力ある団体活動や生きがいを高めるサークル活動の奨励を推進し、リーダーの発掘と養成を図り適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対しても援助を図る必要がある。	C

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
6) 家庭教育学習機会の充実と提供	<p>今日、核家族化、女性の就労機会の増加等や社会状況の変化の中で、子どもたちに豊かな情操を体得させることは難しくなっている。また家庭教育の低下が指摘されるとともに、いじめ・不登校や凶悪な犯罪が発生するなど、家庭での教育に係わる新たな問題が生まれている。こうした中で明るく豊かな家庭づくりのため、保健師部局や学校・保育所等関係団体と連携し、家庭教育学習の活動支援を図った。事業は、幼児教室、家庭教育学級、読み聞かせ教室、PTAの研究大会など。</p>	<p>明るく豊かな家庭づくりのため親と子のふれあいの機会の充実や、学習機会を提供し、子どもの心身の発達段階にふさわしい適切な教育の推進と社会生活に必要な基本的習慣を身につけさせることが必要である。</p>	B
7) 高齢者教育学習機会の提供及び人材活用と世代間交流の促進	<p>今日の高度情報化の中で、時代にふさわしい豊かで充実した学習機会の提供を図っている。事業は、ひまわり大学・生きがいセミナー・高齢期の生活や健康づくりなどの講座も行っている。また高齢者のこれまで培ってきた技術や知識を活用し子どもと高齢者のふれあい事業を行っている。</p>	<p>高齢者においては、活動内容の固定化や個々の社会性・能力・健康に個人差があり、それぞれの生活や学習要求に応じた学習の提供。また健康づくりのためのスポーツ活動や高齢者の人材を活用した異世代との交流事業が継続出来る支援。今後においても生きがいづくりを目指す高齢者教育の推進が必要である。</p>	B
<p>4) スポーツ・レクリエーションの振興</p> <p>ア) 生涯スポーツの開発と普及</p>	<p>健康で明るく豊かな生活を過ごすために、町民皆スポーツを掲げて「スポーツの町宣言」を行い子どもから高齢者にいたる幅広いスポーツ・レクリエーションの振興に努めて、41年が経過した。現在では人口の減少に伴い、スポーツ人口も減っているがその中でパークゴルフの普及により高齢者のスポーツ意識が高まってきており、各種大会の取り組みやスポーツプログラムの実施等を行い、スポーツの定着に努めてきた。</p>	<p>町民皆スポーツを通して健康で明るいまちづくりを進めていくために、関係機関との連携を図り、気軽にスポーツ・レクリエーションが楽しめるよう、年代に応じた各種スポーツプログラムの更なる開発と普及をはかり、各種教室の開催や団体との交流機会を多く作り出していく必要がある。また、既存団体の活動の推進と支援が必要である。</p>	B

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
イ) スポーツ指導体制の強化	各スポーツ団体・サークル・スポーツ少年団などの活動基盤が整い、各種の活動が進められており、体育指導委員や各種スポーツ指導者の研修会・講習会への派遣に努め指導者の養成と発掘を行ってきた。	今後に於いても、各団体と連携しスポーツ指導者の養成と資質向上を図るため、研修会・講習会への派遣が必要である。	B
5) 芸術・文化の振興 ア) 創作・発表活動の充実	生涯教育が進むなかで、心を豊かにし生活に潤いと活力ある地域社会を築くために、芸術・文化の果たす役割は極めて大きいものがあり、町民が主体的に行っている美術・音楽・舞踊などの創作や発表活動の場の提供、また団体・サークル活動の支援等を行ってきた。	今日の芸術文化活動は、公民館講座などで育成した結果の表れとなり、多くのサークルが誕生している。今後も、芸術・文化の振興を図るため、町民文化祭の充実と町民自らが生涯学習の観点に立って芸術文化活動へ積極的に参加する気運を高めていく必要がある。また学習機会の提供や指導者の養成、サークル活動の育成と自主的な活動に対しても支援が必要である。	B
イ) 芸術・文化の鑑賞機会の拡充	文化の香り高いまちづくりを目指し、芸術・文化に触れる機会の提供と、創作や発表の場の提供を行い、また芸術の旅を実施し、音楽コンサート等の鑑賞機会の提供を行った。子どもたちには、小劇団を招聘しての講演や映画鑑賞を行っている。	今後も、豊かな心を育み潤いのあるまちづくりを目指した文化活動を推進するため、芸術文化に触れる機会の拡充が必要である。	B

社会教育及び社会体育事業の点検・評価

平成19年度 北竜町社会教育事業実施内容

生涯学習推進事業

No. 1

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省・評価	評価
1 生涯学習の推進	生涯学習が設置され生涯学習の町づくりへの推進についての基本的な方向が示されています。 町民に『いつでも・どこでも・だれでも』学習できる環境の整備を図る必要があります。	通年		一般			1)各機関で行われている事業・行事の見直し 2)事業・行事の連携協力へ向けての協議	第3次北竜町社会教育中期計画に基づき生涯学習の推進と環境整備の推進を実施している。	1 2 ③ 4 5
2 生涯学習カレンダーの発行	生涯学習を実施している関係機関の活動内容を知らせ計画的に学習活動に参加する意識を喚起する。	年3回発行		一般			役場、学校、社会教育団体、農業団体商工団体等の行事を掲載。 第1回 5月1日発行 5月から8月分 第2回 8月1日発行 9月から12月分 第3回 12月15日発行 1月から3月分	町内全戸・事業所等に配布している。各行事の事業、日程を周知することにより、事前に行事への参加意識、計画ができる。	1 2 ③ 4 5
3 生涯学習だよりの発行	毎月行われる生涯学習の状況を、広く住民に知らせるとともに、参加を促す。	毎月1回発行		一般			毎月1回広報ほくりゅうに掲載し全戸配布。	生涯学習においての行事等の内容を掲載することにより、町民の参加を促す契機になると思われる。図書館の利用を促進するため新刊情報なども掲載している。	1 2 ③ 4 5
4 生涯学習振興事業助成	北竜町の教育振興と住民の生涯学習を推進し、もって町民の心を健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与する。	通年		一般			生涯学習振興基金の運用 文化振興・イベントの開催に関する事業 スポーツ等に関する事業 伝統・文化保存に関する事業 人材育成に関する事業 産業振興に関する事業 独創的な町づくり事業 生涯学習振興に関する事業	本町はもとより町外でも活躍をしている北竜太鼓へ太鼓修理のため10万円助成し安定した運営を図った。	1 2 ③ 4 5

社会教育

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省・評価	評価
1 AET派遣事業(国際交流事業)	国際化の時代に対応した学習機会として 外国語学習、外国人との交流、海外事情学習、等派遣員を通して国際理解を深める。	4月～3月全25回	小・中学校、保育園	小・中学生、保育園児	小6回、中15回、保4回	ジェフリー・ギロド(米国人)	各学校と協議し、実施計画書を作成 中学生～英語の授業(ヒヤック・英語) 小学生～国際交流・簡単な英会話 保育園児～挨拶・色・数など 保育園4回 小学校6回 中学校15回	グローバル化した日本社会で外国人とふれあい、直に国際語にふれる機会を子供たちに提供することは、視野が広がり貴重な体験である。	1 2 3 ④ 5
2 子どもと高齢者のふれあい事業	核家族が進む中、世代間交流が少なくなっている傾向にあります。子どもに高齢者のもっている知識や技術を継承し、子どもたちに心豊かな経験の機会を設ける。	5月～2月全10回	公民館他	小・中学生	9回実施 延べ234人	ふれあい事業推進委員(14名)	農園づくり(収穫祭) パンづくり もちつき 見学旅行 ふれあいスポーツ 正月の遊び・豆まき・その他	推進員の皆さんは、率先して事業に協力し、子供たちと毎回楽しく事業を推進している。子供たちの健やかな成長と高齢者が生きがいを実感できる良い事業である。	1 2 3 ④ 5
3 母村児童交流事業(千葉県本埜村)	母村の歴史文化を学び豊かな心の人間性を培うなど、児童間交流を深める。	訪問7/26～7/29 受入7/31～8/3	町内	小学生	11人		1日目 受入式 2日目 児童交流会、町内見学 3日目 道内見学旭山動物園、富良野方面 4日目 帰村	子どもの相互交流で母村との絆が保たれ北竜町の生い立ちや社会学習、新たな人とのふれあいの体験など子どもたちにとって学ぶものが大きい。	1 2 3 4 ⑤

平成 1 9 年 度 北 竜 町 社 会 教 育 事 業 実 施 内 容

No. 2

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省・評価	評価
4 北空知シニアリーダー研修会	次代を担う北空知に住む中・高校生が交流を図り、地域において青少年の社会参加や活動を促進する。将来のリーダー的存在として必要な技術を学ぶことにより実践力を高める。	1/9～11	道立青年の家	中学生	7人	北空知社会教育関係職員	交流交歓会、ドミノ、レクレーション、キャンドルサービス等のプログラムをとおして研修を行う。	参加する意義をしっかりと持たせることが重要である。協調性とリーダーシップを養い、仲間づくりの事業としては良い事業である。	1 2 3 ④ 5
5 北海道ジュニアセミナー	中学生を対象に、青少年施設を利用して研修を行い、集団生活の中で少年活動に必要な知識技術を習得し、広域的な視点に立った少年活動のリーダー養成を行う。	8/7～9	道立青年の家	中・高生	北中3年生 北清美喜さん	北海道教育局	道央の中高生が一同に会し開催 ・専門コースで研修 ・北空知のでフィールドワーク研修	北清美喜さんは、積極的に自分の意志で参加した。福祉を専攻し、実習等を行い、友人づくりなど貴重な体験ができた。	1 2 3 ④ 5
6 家庭教育学級	家庭教育の振興をはかり、家庭・地域社会がそれぞれ教育的役割を認識し、機能を十分に発揮できる動機となるよう学習機会を提供する。	小12/20 中 2/27	小・中学校	P T A 会員	小8人 中8人	各学校教師及び地域指導者	活動・講座をとおして家庭教育について学習。	今年度は小中学校ともそば打ちを保護者と先生と一緒に学び相互理解と家庭教育について語り合った。	1 2 3 ④ 5
7 成人式	成人となったことを自覚し、社会人としての責任ある行動をしようとする新成人を祝福し激励する。	1/13	公民館	新成人	18人 (対象23人)		式典、立食パーティ	式は新成人の協力もあって厳粛に行われた。立食パーティは楽しく進行的だったが時間がなかった。	1 2 3 ④ 5
8 パソコン教室	今や生活に欠くことのできない、コンピューターの知識と技術を身につけ、その機能を活用し生活をより豊かで効率的なものにする。	11月26～29日 4日間	中学校コンピュータ室	成人	7人	南波係長 橋本教諭 秋田教諭	パソコンの基本操作 文字入力 ワープロソフトの基本操作 表計算ソフトの基本操作 インターネット	本年度中学校のパソコンが新規に更新され、まだ家庭にあまり普及されていない最新の基本ソフト(ビスタ)に換わった。参加者が学んだことを家庭で活かすことが出来ないという不満があった。	1 2 ③ 4 5
9 読み聞かせ教室	幼少期から図書に関心を持ってもらうため、未就学児を対象とした、絵本などの読み聞かせ活動が大切である。 また、親子のふれあい、子供の情操教育など家庭教育の観点からも絵本をとおして母親を対象に技術の習得をしてもらう。	2/29	学童室	成人 幼児	6人 5人	子育て支援センター指導員 大友優子	家庭教育を兼ねて幼児にあわせた絵本の選び方、読み聞かせ方法などを講習	大友指導員の幼児を楽しませる工夫を凝らした指導方法で内容の充実した教室となった。初期の情操教育と親と子どもがふれあうことの手段として学ぶことは重要である。	1 2 3 ④ 5
10 太極拳教室	町内の青年から高齢者を対象に、体を使い無理せず誰にでもできる健康法を紹介し、健康で明るい毎日を送ってもらう。	2/19・26 3/4	公民館	一般人	延べ59人	雨竜町西谷咲子	太極拳教室 3日間	町内の成人を対象に冬の運動不足を補う健康法を学んだ。男性の参加もあり、ストレッチや相手にしてあげるマッサージの指導もあり有意義な教室であった。	1 2 3 4 ⑤
11 レディースセミナー	女性の学習活動に参加する機会を設け、家庭で役に立つ健康づくりの知識や料理のレシピ等を学ぶと共に仲間づくりを行い社会参加を促す。	2/20・22	公民館	女性	延べ12人	杉山恵理子	手軽で簡単な料理の講習 2日間	募集チラシを全戸配布したが人が集まらず苦労したが女性の社会参加と家庭教育としてはよい事業である。	1 2 3 ④ 5

平成 1 9 年 度 北 竜 町 社 会 教 育 事 業 実 施 内 容

No. 3

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省・評価	評価
12 パソコンヘルプデスク	コンピューターの知識と技術を身近なものにするため、日頃の疑問に答える場を提供する。	通年	公民館	一般		教育委員会職員及び地域指導者	パソコンの基本操作 文字入力 ワープロソフトの基本操作 表計算ソフトの基本操作 インターネット	本年度は利用がなかった。	1 2 3 4 5
13 学校開放事業	町民の学習活動及びコミュニティーづくりの場として、学校施設を町民の利用に供する。	通年	小・中学校	一般			少年団活動、パソコン教室等	スポーツ少年団活動やパソコン教室、スポーツ教室で町民が学習する機会を提供している。	1 2 3 ④ 5
14 各種指導者養成講座派遣	北海道教育庁等が主催する各種指導者養成事業に、自ら参加希望する人に助成を行い、生涯学習振興のために各種指導者を養成し活用を図る。	10/13 ~ 14	室蘭市	一般	2人		小学生バレーボール指導者研修会へ参加(日本バレーボール協会主催)	少年スポーツ団の指導者の技術の向上と全道大会参加資格指導者の養成のため派遣を行い成果を上げている。	1 2 3 ④ 5
15 ひまわり大学	高齢期になってもなお生き生き豊かに暮らすことが、高齢化社会における生涯学習のねらいです。学生が社会生活における役割を自覚し、それにふさわしい知識と教養を身につけ、自らの生きがいを創造しながら社会参加を図ることを目的とする。	5月~3月	公民館	高齢者	11回 開催 延べ 635 人		入学式 講演~8回 見学旅行 ひまわりオリンピック 卒業式(懇親会・クラブ活動発表会)	講座内容が多岐にわたり、高齢期に家に閉じこもらず健康で生きがいをもって過ごす上で非常に学ぶことが多い。また仲間を多くつくり、楽しい人生を送ることを実現する場としてふさわしい講座である。	1 2 3 ④ 5
16 生きがいセミナー	高齢者が生きがいを持ち、社会参加して活躍できるよういろいろな知識や技能を身につけることによって、家庭や地域での役割が見出され高齢者各人の生きがいが助長される。	2/21・28 3/6	公民館	高齢者	延べ 69人	岩見沢在住 河岸利喜雄	カラオケの指導 発声・歌唱練習	河岸先生の分かりやすく、楽しい指導は参加者からの評判が良い。歌うことは健康にも良く高齢者向けの事業として大変良い。	1 2 3 ④ 5
17 子ども会育成連絡協議会	青少年の心身共に健全な育成を図るため、地域子ども会により構成。	通年	改善センター・公民館他	小中学生	6回 156 人		・わんぱく夏祭りへ参加 32人 ・リーダー研修 7人 ・見学旅行の実施2回 53人 ・ドッチボール大会 40人 ・カルタ大会・豆まき 24人	スポーツ少年団の活動もあり、参加者が低学年化している。高学年も参加した中で事業を行い、学年を通しての心や思いやり、リーダーシップの心を養うためにも全学年で行いたいものである。	1 2 3 ④ 5
18 青少年育成推進協議会	青少年の健全な育成を図るため警察、町内青少年関係団体により構成。	7/19 12/18	公民館				・夏・冬休みの生活のきまりについて ・子どもの健全育成事業について ・青少年の非行防止について	子供への社会教育事業、防犯・非行防止について協議し有意義な会議であった。	1 2 3 ④ 5
19 地域教育力・体験活動推進協議会	青少年の週末・放課後活動、ボランティア活動推進のため各学校、関係団体により構成。	通年	公民館				・週末・放課後活動の支援 ・ボランティア活動の支援	子どもと高齢者のふれあい事業や学校が主体となって実施している。	1 2 ③ 4 5
20 女性連絡協議会	町内女性活性化のため、各町内会代表により構成。	通年	改善センター・公民館他		女性レク 180 人		・町民体育大会北竜音頭パレード参加 ・町民文化祭チャリティーバザー実施 ・女性レクレーション大会参加	各行事では積極的に協力していただき大会や文化祭に華を添えてくれた。	1 2 3 ④ 5
21 子ども見守りサポーター	地域の住民や団体の参画で子供たちを犯罪や交通事故から守り、健やかな成長に寄与することを目的とする。	通年	町内一円	一般			・通年をとおして登下校時等の防犯パトロール及び交通安全 ・情報交換	5月から通学路5カ所で当番を決め朝に見守りパトロールを行っている。	1 2 3 ④ 5

平成 1 9 年 度 北 竜 町 社 会 教 育 事 業 実 施 内 容

文化芸術

No. 4

事 業 名	趣旨(19年度推進目標)	期 日	場 所	対 象	参加数	指 導 者	実 施 内 容	反 省 事 項	評 価
1 ひまわりボランク (一人一能登録制度)	地域社会の中で様々な技術を有する人を学習ボランティアとして活用し生きがいを育てるとともに、学習を通じて人々が連帯感や町づくりなどの意識を育てる。	通年		一 般			『他薦』『自薦』により登録を募る 住民のニーズに応じた登録台帳の作成 公民館講座、地域づくり講座などで活用を図る	社会教育・体育事業でパソコン教室、料理、読み聞かせ、水泳で指導していただき、絵画はサークル独自でボランクに登録した方に指導していただき活用させていただいている。	1 2 3 (4) 5
2 文化公演会 演劇鑑賞(北海道巡回小劇場)	人生80年代を迎え、生涯学習を推進する中で時代に対応した生き方を身につけて積極的に生きていくために広い知識を身につける必要がある。現在町内では、各機関がそれぞれ講演会を実施しているが聴衆者・費用等効果的な開催となっていないのが現状である。講演会を各機関が協議して幅広い参画の中で開催する。	10/18	改善センター	保育園 小学生 中学生 一 般	保26人 小中 181人 一般 10人 その他 15人		保育園・小中学生を対象とした優れた児童劇・民族劇・音楽鑑賞などを行う 1. 演劇鑑賞～劇団さっぽろ 演 目～昔話の世界 (対象～保育園・小・中学生、一般)	町内の園児・小中学生にとって、生でプロの演劇鑑賞をする機会がないので貴重な体験であったと思われる。演じ手の語りを中心とした演劇で想像力が養われ、琴やギター演奏もあり、子供たちの鑑賞態度も良く、すばらしい演劇鑑賞であった。	1 2 3 (4) 5
3 町民映画会 (親子映画鑑賞会)	一つの作品を多くの人が、同時に鑑賞し感動を共有するという事は、とても意義深いことである。ビデオ化されていない優れた映画の鑑賞機会を設け町民の文化振興を図る。	11/2	改善センター	一 般	120名		町民文化祭初日に合わせ、親子で楽しめる映画鑑賞を行う	分かりやすく楽しいアニメを探していたが著作権の問題もあり、今年もトムとジェリーを上映することとなった。親子で鑑賞している人も多く、笑い声もあったので親子のつながりができる事業である。	1 2 3 (4) 5
4 町民文化祭	日頃の文化サークルの活動の発表の場として、また町民の文化に対する意識の高揚を図る場として実行委員会を、サポートする。	11/2～3	公民館・改善センター	一 般			町民文化祭実行委員会主催 ・芸能発表 ・作品展示 ・チャリティーバザーの実施	各サークルの貴重な発表の場であり、文化連盟や女性協などが協力しての手作りの文化祭である。今年は第30回記念で保育園児の遊戯、パンまきなど盛り上がりがあった。	1 2 3 (4) 5
5 音楽鑑賞の旅	音楽の知識を高めるために、優れた音楽に接する機会を設け、自主的文化活動の促進を図る。	12/15	札幌市 Kitara	一 般	17人		1) 芸術文化施設の音楽公演等の鑑賞 2) 町スクールバス利用、チケット代は個人負担 札幌交響楽団第9コンサート鑑賞	会場はキタラで音響もよくすばらしいコンサートであった。参加した皆さんは感動し、大変喜んでいました。このような機会を提供することは良いことである。	1 2 3 (4) 5
6 映画鑑賞の旅	芸術文化を高めるために、優れた映画に接する機会を設け、心の情操や自主的文化活動の促進を図る。	3月下旬		一 般			1) 映画上映施設の映画鑑賞 2) 町スクールバス利用、チケット代は個人負担	ディノス旭川で映画の旅を企画しチラシを作成し、中学生と町内全戸に配布したが5人しか参加者がいなく中止とした。	(1) 2 3 4 5

平成19年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No. 1

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1 ピカキカキッズ (親と子の遊びの広場)	少子化、核家族化が進む中で、育児に不安を抱える親が増えているように思われる。ゲームや自然とのふれあいを通して親子間のスキンシップと健康づくりを助長し、同世代の子供を持つ親同士の仲間づくりや、子供同士の遊びの和の助長を推進する。	4月～3月 全12回	公民館・すこやかセンター	幼児とその親		大友 優子氏 守屋 陽子氏 藤村 寿子氏 荒川恵美子氏 乾 真由美氏 杉山恵理子氏	1 楽しい室内あそび、2 親子のふれあいあそび、3 キッズエアロビクス、4 元気に外遊び、5 ミニミニ運動会、6 手作りおやつ会、7 クリスマス会、8 子育て講話 全12回	本年度より子育て支援センターが中心となり活動することにより参加者の拡充を図っている。今後更に親同士の仲間づくりや、子供同士の遊びの和の助長を図りたい。	1 2 3 4 5 _ _ _ _
2 親子スキー教室	児童数の減少と余暇時間の過ごし方の変化に伴いスキーをする機会が減ってきたように思われる。幼い頃からスキーに親しみ、興味を抱かせることによって、冬の健康づくりとスキー人口の底辺拡大を図る。	1/9・10 11	町営スキー場	6歳～10歳までの児童とその親	13名	スキー指導委員会指導員	スキーの履き方、脱ぎ方 スキーを履いての歩行 リフトの乗り方 滑り方	スキー指導委員会の指導により初心者の子ども達でも最終日にはリフトが乗れるまで上達した。	1 2 3 4 _ _ _
3 親子パークゴルフ教室	コミュニティスポーツとして広く親しまれてきたパークゴルフを少年たちにも広め、自主性、社会性を培うとともに、パークゴルフを通してスポーツの振興を図る。	10/8	ひまわりパークゴルフ場	小・中学生とその親	9名	パークゴルフ協会会員	現地集合 開講式 P G場でのマナーについて 実技を通じて(基本技能習得)	雨天のためP G教室を中止とし改善センターにおいて室内レクを5種目行ない競技終了後参加者と保護者でカレーを食べた。	1 2 3 4 5 _ _ _ _
4 水泳教室	水泳に関しては、指導・練習なくして上達はしない。水に慣れ親しむところから、さらには水泳技術の向上を図ることにより、体力増進・水難事故の未然防止を図る。	7/31 8/1 8/3	海洋センタープール	小学生	15名 15名 17名 47名	日本水泳連盟 水泳指導員	対象が低学年であるため、初歩的な実技指導を行う。	小学生低学年を対象に、水泳指導員により初歩的な実技指導を行った。参加児童は熱心に指導を受けていた。	1 2 3 4 5 _ _ _ _
5 水中レクリエーション大会	水中ゲームなど水と親しむことにより、海洋性スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくりや体力づくりの推進を図る。	8/17	海洋センタープール	小学生	9名	日本水泳連盟 水泳指導員	水中ジャンケン、ビート版レースといったようなレクリエーション競技を3種類実施。	気温が低かった為例年行っているプール周辺のゴミ拾いをやめた。レクリエーションについては子ども達は皆楽しそうに行っていた。	1 2 3 4 5 _ _ _ _
6 ベースボールフェスティバル	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	9月下旬	町営野球場	小・中学生		ボランティアスタッフ	ナイターリーグの開催。	昨年度同様ベースボールフェスティバル実行委員会主催でナイターリーグを開催、役1ヶ月間白熱した試合が繰り広げられた。	1 2 3 4 _ _ _
7 北竜町教育長旗争奪北空知少年野球大会	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	8/5・6	町営野球場	小学生		9チーム	北空知各野球スポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	2日間に涉り行われた大会も、各チーム全力を尽くし、優勝目指してプレーした。今後も後援会、保護者の方々にご協力いただき開催したい。	1 2 3 4 _ _ _
8 北竜ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会	北空知管内の小学生バレーボールチームの親睦と交流を図り、強健な心身の育成と技術の向上に努める。	11/25	改善センター	小学生		12チーム	深川地区各バレーボールスポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	参加チームが昨年より増え全12チームにより試合が行われた。怪我人もせず終了する事ができた。	1 2 3 4 _ _ _
9 防犯少年剣道大会	剣道を通して少年の健全育成、活力推	12/16	改善セン	小・中	21名		小学生、中学生を招いて実施。	後援会の協力により無事終了した。	1 2 3 4 _ _ _

平成 19 年度 北 竜 町 社 会 体 育 事 業 実 施 内 容

No. 2

事業名	趣旨(19年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
10 B & G 『海洋体験セミナー』 B & G 『体験クルーズ』	実践的な海洋性レクリエーション活動を通して、「海」・「船」に対する理解と知識を習得させることで、人と海の関わりを知らしめ、規則正しい団体生活のもとに協調と連帯の精神を学習し、友情を深め豊かな人間性を養いあわせて海事思想の普及を目的とする。	7/30 3月下旬	沖縄県 (マリン ピアザオ キナワ) 小笠原、 父島	小・中 学生 小学5 年生～ 中学生	1 名 1 名	B & G財団 担当者	1) 芦別市、沼田町、秩父別町、北竜町の担当職員代表者が、各町村参加者を集合・解散地まで送迎する。	子供達にとって有意義な時間となったようである。全国の子供達とふれあい生活を共にする事で思いやりと自律の向上が図れるものとする。	1 2 3 4
11 町長杯町民パークゴルフ大会 教育長杯争奪町民パークゴルフ大会 議会議長杯パークゴルフ大会	誰もが気軽に、一人でもできるパークゴルフを通して、健康で明るく豊かな生活を目指すとともにスポーツに対する関心を高め、町民の体力の増進と意欲の向上を図る。	7/ 8 6/ 3 7/15	ひまわり パークゴ ルフ場	成 人	5 6名 5 1名 5 6名			本年度も全町民対象に大会を開催した。参加数の内、女性参加者が減少傾向にあるが、今後PG協会を通じ参加の呼び掛けを行いたい。今後も健康維持スポーツの一環として幅広く普及を行いたい。尚、各団体、PG協会の主催大会については今後役割を明確にしていく必要がある。	1 2 3 4 5
12 レッツゴー体育の日パークゴルフ大会	誰でも気軽にできるパークゴルフを通して、スポーツに対する関心を高め、体力の維持増進とともに健康で明るく豊かな家庭生活の一層の向上を図る。	10/24	ひまわり パークゴ ルフ場	成 人	4 3名			雨天の為延期開催となったが参加者に影響はなく大会を終了することができた雨天時の連絡網を明確にしておく必要がある。	1 2 3 4 5
13 スポーツ教室	誰もが気軽にできるスポーツとして提供することにより、生涯スポーツとして普及を図り、健康な身体づくりを助長しあわせて体力向上を図る。	3/14 3/21	北中 (体育館)	成 人	2 0名	小島紀行氏	キンボールを実施	キンボールについては今年で3回目の開催となった。参加者のキンボールに対する興味が向上してきており楽しく競技を終了した。	1 2 3 5
14 ストレッチ教室	適度な運動を継続して行うことにより冬期間の運動不足解消・体型維持・血行促進といった効果を生み、参加者が健康的で生き生きとした生活が維持できるよう助長する。	3/ 6 3/13	改善セン ター	成 人	1 5名	セントラルフィット スクラブ 330旭 川 山田道代氏		冬期間の健康づくり講座が教育委員会事業として多数実施しているため、開催時期及び事業の検討も行う必要がある。	1 2 3 4 5
15 ライオンズクラブ杯争奪全町女性ミニバレーボール大会	気軽にできるミニバレーボールを通じて、中高齢者が明るく豊かな生活が送れるよう、体力の維持増進とスポーツへの関心を高める。	1/20	改善セン ター	女 性	10チーム 約80名	体育指導委 員		参加チームそれぞれにご協力いただき大きな事故・怪我もなく終了する事ができた	1 2 3 4
16 全町女性レクリエーション大会	町内女性が一堂に会し、相互の親睦と融和を図りレクリエーションで楽しみながら交流を図る。	11/10	改善セン ター	女 性	180名	体育指導委 員	6種目 大抽選会	参加者においては楽しく競技参加していた。今後も競技・景品の改良を行い参加者の充実を図りたい。	1 2 3 4 5

平成 1 9 年 度 北 竜 町 社 会 体 育 事 業 実 施 内 容

No. 3

事 業 名	趣旨(19年度推進目標)	期 日	場 所	対 象	参加数	指 導 者	実 施 内 容	反 省 事 項	評 価
17 ひまわりオリンピック (旧老人オリンピック)	高齢者になると集団で協力して活動する機会が少なくなりがちである。そこで、仲間と目的を持ち気軽に楽しく運動できることがこれからの生活にますます重要になってくる。仲間とともに楽しみ交流を図る。	10/11	改善センター	高齢者	96名 男48 女48	体育指導委員	9種目 ジュース、豚汁のサービス	楽しい時間の中で競技を終了することができた。 来年度においては競技を工夫したい。	1 2 3 4 5
18 教育長杯ゲートボール大会 町長杯ゲートボール大会 議会議長杯ゲートボール大会	高齢者が気軽にできるゲートボールを通じて、健康で明るく豊かな生活を目指し、スポーツに対する関心を高め体力の増進と地域の仲間づくりを図る。	6/6 8/8 9/4	ゲートボール場	高齢者	24名 16名 20名			晴天での大会であったが体調をこわす方も出ず大会を終了した。 近年、競技者の高齢化、PG人口の増加により競技人口が激減している。 本町には、3つのGBチームがあるが解散の危機にあるチームも存在している、このようなことから今後北竜町GB愛好会としての位置づけについて協議していく必要がある。	1 2 3 4 5
19 スポーツ少年団本部	少年がスポーツを通じて技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図る。	通年							1 2 3 4 5

社会教育施設の点検・評価

社 会 教 育 施 設

No.	施設名	施設概要	推進目標	反省事項	評点
1	北竜町公民館	S46建築 鉄筋コンクリート2階 1,373.88㎡(416坪) 講堂1 和室2 調理室1 研修室3 大ホール1	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	外壁・窓枠等の修繕が必要	1 2 3 ④ 5 _ _ _ _
2	北竜町農村環境改善センター	S51建築 鉄筋コンクリート2階 1,824.88㎡(553坪) 多目的ホール1 研修室1 会議室1 保健室1 郷土資料室1	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
3	北竜町生きがいセンター	S57建築 鉄筋コンクリート1階 782.50㎡(241坪) 会議室1 小会議室1 体育館1 (527㎡) H15建築 木造1階 298.08㎡(92坪) 研修室2 調理室1	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
4	美葉牛農業研修センター	S56建築 鉄筋コンクリート2階 824.88㎡(482坪) 多目的ホール1 研修室2 調理室1 体育館1 (330.51㎡)	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	老朽化に伴い体育館の整備検討	1 2 3 ④ 5 _ _ _ _
5	北竜町図書館	S61建築 鉄筋コンクリート2階 531.91㎡(160.90坪) 1F 図書館	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
6	北竜町郷土資料館	2F 郷土資料館	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
7	北竜町営野球場	S62建築 20,000㎡ 夜間照明4基	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	芝の補修及び土砂の入替の検討	1 2 3 ④ 5 _ _ _ _
8	北竜町B&G海洋センター	S63建築 25m × 13m 上屋付き 10m × 6m 875.07㎡	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	プール上屋と管理棟の塗装検討	1 2 3 ④ 5 _ _ _ _
9	北竜町営テニスコート	S59建築 2面 夜間照明4基	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
10	北竜町ひまわり観光センター	H9建築 1,254.31㎡ スポーツサンド	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
11	北竜町ひまわりパークゴルフ場	H13建築 R=976m 18ホール パー66 H18建築 R=471m 9ホール パー33 H16建築 R=452m 9ホール パー33	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	計画的な芝の補修	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
12	パークゴルフ場 美葉牛コース	H8建築 R=296m 9ホール パー33	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
13	北竜町営スキー場	S42建築 3.09ha 夜間照明4基	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	コースの安全対策に努める	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
14	ゲートボール場 和コート	H2建築 15m × 20m 6面	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _
15	ゲートボール場 碧水コート	H63建築 15m × 20m 4面	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	利用者なく使用中止	1 2 3 4 5 _ _ _ _
16	ゲートボール場 美葉牛コート	H59建築 15m × 20m 2面	施設・設備の有効的な活用と管理に努める	管理良好	1 2 3 4 ⑤ _ _ _ _

評価結果の総括について

教育委員会の内部評価については次のとおりとなっています。

主要施策の評価については、A・Bの評価点は、効果的で適切な運営が行われており成果の達成度の高いものであり、C評価についてはやや達成しているが、ある程度の見直しや改善策の必要があるものとなっております、Dの評価はなく、Eの評価は、現在取組みされていないものとなっております。このことから、主要施策に対しての総体的な評価としては概ね達成されていると判断しました。

主要施策に対しての各種50事業、社会教育及び社会体育事業の実施に係る評価については5段階評価で行っています。良好の5が18%、やや良好の4が56%、普通の3が22%で、不良としての1の評価が2%となっております、総体的な評価としてはやや良好であると判断しました。これらの事業の取組みについては、適切な運営の基で実施されており大きな課題はありませんが、参加人数の減少が目立ちました。子どもたちについては、開催される行事が土曜日、日曜日であることから、各種行事が重複し参加できないことが主な理由であります、今の社会現象である少子化の要因も一つであると思われます。成人及び女性の参加では、本町は農業人口が大半を占めており、農業経営は近代化農業と言われておりますが、余暇をとる余裕の無い農業事情となっております、思うように参加が出来ない状況となっております。高齢者については、高齢化に伴い身体の不自由さや出無精が要因と思われます。このような事情から、対象者の年齢やニーズの把握を図り、また内容が固定化にならないような工夫や、興味を持って参加できる学習の提供と改善が必要であると考えます。

最後に、社会教育施設の評価については、適切な管理運営に努めており5段階評価で、良好の5が68%、やや良好の4が25%の割合となっております良好と判断しており、今後も適切な管理運営に努めて参りたいと考えています。

外部評価について

この点検・評価を行うに当たっては、第三者の評価を図るものとされていますが、今後先進自治体の取組みについて調査・研究を行い、外部（第三者）評価導入の検討を進めていきたいと考えております。

議会への報告について

議会への報告にあたっては、報告書を作成し、「議会に提出しなければならない」とされています。提出後に議会で説明をおこなうことについては法律上の決まりはありませんが、町民への積極的な説明責任をはたすことから行うこととしました。

一般への公表について

公表の方法については法律上の決まりはありませんが、教育委員会のホームページに掲載したいと考えております。